

問 小学校の英語教育は

今年度より、南中学校の英語教員が、南小学校に配置され5年生、6年生を中心に英語を教えている。

この「Jプラン」施策についての成果は。また、英語の免許を持っていない小学校教員が、自信を持って英語指導できるよう、どのように取り組んでいくのか。

答 英語教育の教科化に向け研究を進める

今年度から英語教員による人事交流を行い、小中学校9年間をみすえた英語教育の在り方や指導方法の研究を進めているところである。教員の授業力向上については、研修会の実施、先進的な事例を視察するなどの支援を行っていく。



江原浩之 議員
(隼人)

問 オータムフェス開催は

まつりやイベントは、参加を通し、市民相互の交流と連帯が強まり、コミュニケーションの醸成が図られる。オータムフェスの開催に向けた取組状況は。次に、オータムフェス実行委員会を設置してはどうか。今後どのように、オータムフェスに取り組むのか。

答 市民の機運に応じて検討する

今年度は、しらおか農業祭、シルバーまつりおよび社会福祉協議会まつりの3つを同日開催する。当面は、同日に開催できる祭りなどは同日に開催し、市民の機運が高まってきたら、実施団体の意見を伺い、市全体として秋の祭りを統合する方向性が良いと考える。



問 開かれた特別支援学級に

特別支援学級を担当する先生の資質向上を。健常な児童・生徒や他学級の先生などが気軽に見られる開かれた学級に。交流学習会の公開を。障がい者を孤立させないで、可能な限り親教室との触れ合いを。偏見や差別の解消は、障がいを隠さないことから始まるから。

答 よりいっそう開かれた学級を目指す

特別支援学級担任を含めた市内全教職員が特別支援教育の研修を受け、資質の向上に努める。また児童生徒の実態に応じ、通常学級での授業を通して交流を深めるなど、ふれあいを大切にする。さらに、学校公開、特別支援学級の見学などで開かれた学級を目指す。



斎藤信治 議員
(開白会)

問 障がい者施設などの安全対策を

昨年7月、相模原市で痛ましい事件があった。障がい者施設などの安全対策は、できているか。障害者差別解消法に従った、障がい者への差別・偏見をなくす施策は進んでいるか。また、障害者差別解消支援地域協議会の設置作業の進捗はいかがか。

答 県や施設と連携し安全管理に努めていく

危機管理マニュアル策定の徹底などにより、障害者支援施設の安全対策に努めていく。障がい者差別については調査を実施し、今後の障がい者支援の施策に反映していく。障害者差別解消支援地域協議会は、平成30年度に広域での設置を目指している。



外務省ホームページより